

多摩川ふれあい教室 体験学習会「多摩川博士になろう！」(2022年度) NPO法人多摩川センター

活動日	活動名称	活動概要
2022年 4月24日	多摩川博士になろう！ PART190 多摩川で春の植物を探そう！	新緑がまばゆい季節を迎えた多摩川に出て、どんな場所にどんな植物が見られるのか、河原のようすとともに、河原の樹木や野草を、食べられる野草にも注目しながら観察する。 講師：吉田 誠(植物研究者・NPO多摩川センター研究員)
5月22日	多摩川博士になろう！ PART191 多摩川・初夏の鳥たち	新緑の季節の郷土の森博物館周辺や多摩川の河川敷を歩きながら、夏鳥を中心とした鳥類や植物などを観察し、種類やさえずりといった生態、特徴などとともに、観察を通じて、府中の多摩川の自然環境について学習する。 講師：大塚 豊(NPO多摩川センター研究員・自然写真家)
6月19日	多摩川博士になろう！ PART192 変わりゆく多摩川中流域 (府中市郷土の森博物館「自然観察会」との合同開催)	多摩川の中流域に位置する府中は、歴史やまちの成り立ち、現在の暮らしにも多摩川が深く関わっている。季節の移ろいや洪水など自然の営み、地域の暮らしとともに常に表情を変える多摩川。ふだん目にしていない景色のなかにも、水の利用や災害に対する備え、自然とのふれあいなど、さまざまな人の関わり、変わりゆく多摩川の姿を見ることができる。そのような視点から多摩川を歩き、眺めてみる。講師：吉田 誠(植物研究者・NPO多摩川センター研究員)・中村武史(府中市郷土の森博物館学芸員)
7月18日 ※雨天のため 当初予定17日 を18日に変更	多摩川博士になろう！ PART193 多摩川の小さな流れで生きもの探し	多摩川の岸辺の小さな流れや溜まりのある場所は、水の中の小さな生きものの「すみか」や逃げ場所にもなっている。どんな所にどんな生きものがいるのか、探して観察する。夏の川あそびで注意することなどもあわせて学習する。 講師：佐山公一(みずとみどり研究会)
8月21日	多摩川博士になろう！ PART194 国分寺崖線と湧水をたずねる～多摩川がつくった地形、崖線の緑と野川の始まりの流れ～	多摩川の支川「野川」は、大昔に多摩川が台地をけずってできた武蔵野段丘の崖「国分寺崖線」の湧水を集めて流れる。崖の縁に囲まれた野川の源流域の「お鷹の道」、真姿の池湧水群、武蔵国分寺周辺などを歩いてたどる。 講師：吉田誠(NPO多摩川センター研究員・植物研究者)、山道省三(NPO多摩川センター)
9月25日	多摩川博士になろう！PART195 多摩川むしむしウォッチング (府中市郷土の森博物館「自然観察会」との合同開催)	郷土の森博物館付近の多摩川の河原などの草むらには、この時期、さまざまなバッタや鳴く虫たちが見られる。虫たちはどんな所にいるのか、つかまえた虫がどんな姿をしているのか、どのように鳴いているのかなど、観察、学習する。 講師：立川周二(元東京農業大学教授・昆虫生態)
10月16日	多摩川博士になろう！PART196 多摩川の洪水と風景の中の治水対策	今年も、豪雨や台風などにより、各地で水害や土砂災害が起きている。府中付近の地形や“まち”のなりたち、「ふだんの川」と「洪水のときの川」など多摩川がどんな川かを知ることで災害にそなえ、情報の集め方やいざという時の命を守るための行動について学習する。また、2019年の洪水のことをふりかえり、川の景色や植物、生きものなどにどんな変化や影響があったか、多摩川に出て周辺の地形や河川管理施設などを見学、学習する。 講師：堀越 直哉(国土交通省京浜河川事務所 河川環境課)
11月20日	多摩川博士になろう！PART197 秋深まる武蔵野の水と緑をめぐる～玉川上水・恋ヶ窪村分水をたずねる～	江戸時代に多摩川の上流(羽村)から水を引いて武蔵野台地に開削(かいさく)された玉川上水。その分水の一つである「恋ヶ窪村分水」を中心に、かつての水路の跡や周辺の水と緑、史跡などをたずねる。 講師：吉田誠(NPO多摩川センター研究員・植物研究者)、山道省三(NPO多摩川センター)
12月17日 18日 ※2日間の時間制で実施	多摩川博士になろう！PART198 手づくりのお正月飾りに チャレンジ！	稲わらのしめ飾りをベースに、自然素材などを使って飾りつけ、色紙に墨で描いた絵や書なども添えて、オリジナルのお正月飾りを作作る。伝統的な「和」の形に自分だけのアイデアを加えて表現する。 講師：宮田温子・小林俊介(多摩川センター研究員、多摩川ふれあい教室運営スタッフ)
2023年 1月22日	多摩川博士になろう！PART199 多摩川へ冬鳥に会いに行こう！	冬の季節は、川や水辺でカモ類などの冬鳥や、この時期に特に目にする鳥の姿がある。葉が落ちて、野鳥観察の好シーズン、郷土の森博物館の周辺や多摩川で鳥のようすを観察し、生態なども学習する。 講師：大塚 豊(NPO多摩川センター研究員・自然写真家)
2月19日	多摩川博士になろう！PART200 多摩川の水はきれいになった！？	かつての多摩川は、生活排水など大量の下水が流れ込み、「泡だつ多摩川」と表現されていた時期があった。その頃に比べ現在の多摩川の水質は良くなったが、なぜきれいになったのか、「川の水のきれいさ」とはどんなことなのか、多摩川に出て見学しながら学ぶ。景色の中にある河川管理施設や改築工事が進む大丸取水堰の工事の目的や方法についても解説する。 講師：堀越直哉(国土交通省京浜河川事務所 河川環境課)
3月19日	多摩川博士になろう！PART201 多摩川に春をさがしに行こう！	河原の植物も冬越しら春に向けて準備が始まる早春の多摩川で、樹木や野草の姿とともに、河原全体の植物のようすや河原の植生にも注目して観察する。植物にとって河原はどんな場所なのか、どんな所にどんな植物が生育しているのかなどを学ぶ。 講師：吉田誠(NPO多摩川センター研究員・植物研究者)